Joshua Petherick “Simultaneous Solitudes” . February 2011 . Y3K 205 Young Street, Fitzroy, Melbourne, Australia 3065

DEUTSHER & PETHERICK - Y3K Gallery - Opening 12 February 2011 - 6-8PM
Exhibition runs until 5 March - Gallery open 12-6PM Thursday-Saturday

SANAA/Clay Feet the color of Bacon Bits

今回のSANAA/Clay Feet the color of Bacon Bits’展は、僕にとって初めての東京の個展です。東京を訪れ るのはこれで５度目ですが、今回この貴重な機会いただけてうれしく思っています。本展を開催するにあたり、様々なこと――贅沢にかんする こと、たびかさなる失敗、理想と現実のギャップ――からヒントをらい、自分の直感に従って作品を制作しました。

Clay Feet について

まず、イザベル・グロウの言葉”The values of art rests on clay feet.” を[illegible]文字どおり受け取ると、「アートの価値の基盤は粘土の足である」いうふうに読めますが、「アートの価値の基盤はもろいものだ」と いう意味です。clay feet は「粘土の足」「もろい基盤」）僕は、その両方の意味 で彼女の言葉参考にすることにしました。

万国共通、明確な「醜い足」の代表として、僕は自分の足(feet)をモ[illegible]にして、粘土(clay)で彫[illegible]を作り始めました。しかし、作り始めてすぐにこれは失敗だっと気が付きました。自分の作っているものが、ただの醜い[illegible]が思うようかったのです。自分ひとりの[illegible]は、満足のいく彫刻が作れませんで した。それでも、人の醜い足を作ることは諦められず、プロの職人に依頼し[illegible]繊維[illegible]物をつくりの僕の[illegible]を作ってもらうことにしま した。そのために、まず足の写真を何枚撮りました。（靴をはいた状態、ぬいだ状態。靴下をは[illegible]状態。長ズボンの[illegible]している状態、言っていない状態。裸足の状態など）次に、粘土の足(clay feet)を作り、それを 型にして、ガラス繊維を[illegible]それから、写真の足[illegible]スプレーで[illegible]付けをしました。

Got the new Benz the color of bacon bits,
I got a spot in every state dalmatian bitch

ある日、制作スタジオの前で、ガラス繊維の型に[illegible](clay feet)が、ぬかる[illegible]のを見つけました。半分壊れかけ、変形し、ごのように扱われているこの粘土 のかたま[illegible]モ[illegible]ったんだ[illegible]るみに足を踏み入れました。その瞬間、僕は分が哀しい英 雄になったような気がしました。[illegible]空虚[illegible]われました。それは、[illegible]たマルジェラの靴が、ベーコンビッツ（サなどにかける乾燥したベーコンのふりかけ[illegible]ったからです。僕は[illegible]足理を探[illegible]入れて、メゾン マルタンマルジェラのスニカーを台無しにしてしまったのです。

上記のNicki Minaj (ニッキー・ミ ナー[illegible]フェルドの「本物の 贅沢とは、雨のなかで毛皮を着ることだ」という言葉のよう[illegible]のような色）のメルセデスベンツの最新デルを買い、それを自慢することだと言[illegible]です。誰[illegible]と言っていました。「本物の贅沢というの、それがどんなにひど い代物か気付かず[illegible]

SANAAについて

Clay Feet のそばにある２つの彫刻作品は、[illegible]ある[illegible]の森山[illegible]ました。森山邸は、2005年以降、世界っとも多く注目されている住居建造物の[illegible]イバ[illegible]としての構造、解釈と その価値にかんす考察です。森山邸の写真や文章を見て、[illegible]際に[illegible]を観[illegible]どう[illegible]るの かということに注目をしました。建において「空間を体験する」ことは、最重[illegible]

建築の世界では、写真資料が出回って[illegible]験することもなく、森山[illegible]朝[illegible]み方も知らないまま、その建物について解した気になっている人がたくさんいま[illegible]問題だと[illegible]びるのは、写真が出回るからであり、それでさらに人々の 注目をあつめ……出回[illegible]悪循環で[illegible]

僕は、専門家や一般の人々がSANAAの建築[illegible]森山邸[illegible]う考えている[illegible]ために、関[illegible]検索しました。人々が抱いているイメーはどんなものか、そのイメージは実際[illegible]建[illegible]験[illegible]ぼしているのか、そ[illegible]スのなかで[illegible]には変化が訪れるのだろうか、と考えていた。そして、調べて いるうちに僕は自分なりの[illegible]ました。

そして、先週、いよいよ実際に森山邸[illegible]気持ちのいい日で[illegible]山邸のある通りまで来ましたが、カメラをいじりながら歩いていで、転びそうになりました。その時、ふ[illegible]バイクや、妙に目[illegible]ンレスな[illegible]クスが視界に入りました。顔をあげると、ある の向こうにキッチンに立つTシャツを着[illegible]人が見えました。その[illegible]よいて通り[illegible]うとしたとき、その男の人はちらりと目が合いました。お互いに恥ずかしそうな顔をして[illegible]僕はそのまま立ち止まらず[illegible]りました。[illegible]のか頭の中で整理できないほど一瞬でしたが、マンチックな瞬間でし た。でも、その[illegible]ほどの[illegible]秒間しか森山邸の前にい[illegible]でした。し[illegible]秒ほどの間に森 山邸に漂う生活感を垣間見した。

あらかじめ抱いていたスタイリッシュ[illegible]実際に森山邸から滲み出る[illegible]見て、僕[illegible]ずショックを受けました。理想と現実のギャップ実感しました。こうして僕の森山邸訪[illegible]ックでありながらも、ある[illegible]の間に[illegible]けたきまりわるい失敗に終わりました。

Critique or Gesture: Is that the alternative?

森山邸のような家に暮らすとはどういうことなのでしょう？つまり、現代建築[illegible]が高く、世界が注目するクールな建物に暮らすとはどういうこと のでしょうか。プライベートでありながらパブリックでもある[illegible]ない部分を他人に目撃されうる生活にちがいありません。
森山邸の生活感のなかでもっとも印象的な[illegible]の[illegible]歴の中[illegible]ると同時に日用品の代表でした。そこで人が生活している ということをはっきり主張していました。僕が見つけた資料の中[illegible]えているのは、一般の人々が投稿した森山邸の動画でした。概し 映像のクオリティは低いものが多いですが、僕の見た森山邸の[illegible]ます。正式な撮影用に整えられたきれいな状態とは程遠く、手入 されていない庭の草、無造作に置かれたホース、サ ンルームに干されている[illegible]で皿を洗う住人などが映っているのが見えます。森山邸は構造的 も素材的にも透けて見えるので、こうした人々の生活がパブリッ[illegible]放さ[illegible]。
今回の彫刻作品は、こうした経験に基づく、image（イメージ）、re[illegible]などの資料）、experience（実際に森山邸に行ったこと）にかんする評の終着点です。Issey Miyake と Comme des Garçon BLACK[illegible]し込まれたコンクリートの彫刻作品には、個人的なリサーチと集合宅における僕なりのロジックが込められているのです。

ジャケットについて
2枚のジャケット を展示しています。どちらもComme des Garçon[illegible]パターンです。1枚は、映画「マイアミ・バイス」（監督：マイケル・マン、[illegible]本公開2006年）の有名な ボートのシーンで、コン・[illegible]が着て[illegible]ツを参考にしました。そして、そのファブリックには森山邸の画像をリン トしました。あまり写りのよくない画像ですが、あとでパ[illegible]パネルをつくります。ちょうど、イザベラがソ ニーと夜をともにたあとに、”This is past a bad idea” （こんなの、バッドアイデ[illegible]と言いましたが、そういうことなのです。もしくは、ベーコンビッツ色ルセデスベンツと同じく らい醜いはずです。もう1枚のComme des Garçon[illegible]ジャケットの素材は、安価なコットンドリルです。本展が始まるまで、はスタジ オの中でも、東京で外に出るときも、ずっとこの白いジャケットを着て[illegible]した。白を纏って生活する、つまりSANAAの建物で暮らす イメージで
ジェイム ズ・ドイチャー
2011年　1月

James Deutsher

Beauty is as Fragile as Meaning: Motherfuckers stand on clay feet
(Addressing the Meaning of Material and Process to produce Seductive results)
http://jamesdeutsher.blogspot.com

Y3K

February 2011
205 Young St. Fitzroy Melbourne Australia 3065
http://y3kgallery.blogspot.com